

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人 勝明福社会
特別養護老人ホーム南光荘

介護事業関係

1、概況

特養は前年度比 536 万円の減収。これは入所者の重度化に伴いほとんどの月に入院者があり、延べ人数 34 人、延べ入院日数 1,004 日になりました。しかも介護度 4、5 の方々の入院が多く、最長（入院して 3 ヶ月間はベッドを確保しておく。）3 ヶ月に及んだ件数が多かった。1 人当たり 1 日 10,000 円の減収になり、入院による減収だけでも年間 1 千万円になりました。また、入所者全体に占める要介護 4、5 の割合等の介護報酬加算、男女の部屋割り、ADL による部屋の場所割等も考慮しなければならないこともあるが、欠員補充に手間取り全くの空床の期間が長すぎたことも原因と思われる。

短期入所は、前年度比 84 万増収となり 4 月、5 月、6 月、10 月、12 月が微減で、その他の月は、前年度を上回った。夏期と冬期に利用が多い。農繁期の 5 月、6 月、10 月の利用を増やし、増収につなげて行きたい。年間稼働率が 72% であったが、平成 27 年度は、稼働率 80% 以上を目標に利用促進を行いたい。

デイサービスは、前年度比 283 万円の増収。7 月、8 月は減収になったが、その他の月では増収になっている。年間稼働率 79.5%。27 年度からは報酬単価が下げられており、他事業所との競争激化が予想されるので、様々な角度から利用促進を行いたい。

居宅介護支援については、111 万円の増額。居宅介護支援の場合は、ケアプランの件数の増数を図るために営業活動を強力に行う。また、集中減算等も考慮しなければならないが、いかに法人内のデイサービス、短期入所等の事業所を利用するように働きかけることが出来るかによって、それぞれの事業所の収益アップにつながり、「居宅介護支援→デイサービス→短期入所→特養入所」の流れをつくることが可能になるように件数アップの営業活動を進める。

これら事業所の収益率アップを図るため毎月 10 日に「経営戦略会議」を立ちあげ「現状把握、分析」「今後の取り組み」「法人内介護事業所の情報共有」等営業戦略について会議を立ち上げ月々の目標値を定め、それを達成するための行動計画を各事業所から発表し、実践する。そしてノルマ

を課して達成してもらおう。

「施設の社会化」、利用促進と施設のイメージアップ等を目的に、南光荘デイサービスセンターを会場に「介護制度の説明」「介護サービス利用方法」「高齢者栄養ケア」「在宅で出来るリハビリ」「福祉用具展示」等の介護なんでも相談会を地元地域住民を対象に7月に計画しています。これらのイベントを定例化して、潜在的な利用者予備的な方々やその家族にまずは施設に足を運んでもらえるようなきっかけ作りを強力に行い利用促進につなげたいと思います。

職員の資質向上については、外部講師による「接遇研修会」を開催したり、事故報告書の書き方、「熱中症予防」「高齢者虐待防止対策」「職場の問題解決手法」インフルエンザ、ノロウィルスの蔓延予防対策等の「感染症対策」「救急・蘇生法実技訓練」「不適切ケア」等の研修に力を注いだ。また、「介護プロフェッショナル・キャリア段位制度」を導入するためアセッサー資格取得講習に職員を派遣し、介護職員の育成と指導方法の構築を始めました。今後は、さらにアセッサー資格者を増し、プロの介護職員を育てる礎としたい。また、26年度から職員個々が「学びたい」を基本に自主的に「小規模勉強会」を立ち上げ終業後に、テーマ別に職員が講師になり2時間程度の勉強会を隔月で行う等しており、この勉強会の成果を介護、看護現場で実践している。

2、事業

- | | |
|-----------------|-------|
| ①特別養護老人ホーム南光荘 | 定員80名 |
| ②南光荘短期入所生活介護事業所 | 定員18名 |
| ③南光荘デイサービスセンター | 定員20名 |
| ④南光荘居宅介護支援事業所 | |

3、役員会

〔1〕理事会・評議員会

開催日	協議事項
26. 5. 28	①平成25年度事業報告承認について 法人 特別養護老人ホーム南光荘 南光荘短期入所生活介護事業所 南光荘デイサービスセンター

	<p>南光荘居宅介護支援事業所 生活介護事業所（きずな） 就労継続支援A型事業所（福祉の店きずな） 就労継続支援B型事業所（きずなワーク） 共同生活援助（北山さくらんぼの家） 相談支援事業所（ほのか） 地域生活支援</p> <p>② 平成 25 年度会計収支決算承認について 法人 特別養護老人ホーム南光荘 南光荘短期入所生活介護事業所 南光荘デイサービスセンター 南光荘居宅介護支援事業所 生活介護事業所（きずな） 就労継続支援A型事業所（福祉の店きずな） 就労継続支援B型事業所（きずなワーク） 共同生活援助（北山さくらんぼの家） 相談支援事業所（ほのか） 地域生活支援</p> <p style="text-align: center;">※監事監査報告</p> <p>③ 運営規程の一部改正について 生活介護事業所（きずな） 就労継続支援B型事業所（きずなワーク） 共同生活援助</p> <p>③ その他</p>
26. 12. 3	<p>① 平成 26 年度会計予算補正について 本部第 1 号 南光荘第 1 号 南光荘短期入所生活介護事業所第 1 号 南光荘デイサービスセンター第 1 号 南光荘居宅介護支援事業所第 1 号 多機能型事業所きずな第 1 号 グループホームきずな第 1 号 障がい者相談支援センターほのか第 1 号 地域生活支援事業所きずな第 1 号</p> <p>② 平成 26 年度前半期監事監査報告について</p>

	<p>③ 相談支援事業所「ほのか」の運営について</p> <p>④ 社会福祉法人勝明福社会役員等の報酬に関する規定の一部改正について</p> <p>⑤ 特別養護老人ホーム南光荘玄関廻り改修工事計画について※設計監理業務委託契約の締結について</p> <p>⑥ 南光荘大規模修繕計画について ※設計監理業務委託契約の締結について</p> <p>⑦社会福祉法人定款変更届の提出について</p> <p>⑧社会福祉法人勝明福社会の苦情解決のための第三者委員の選任について</p> <p>⑨「多機能型事業所きずな」の体系変更について</p> <p>⑩その他</p>
27. 3. 31	<p>①理事長専決事項の報告について</p> <p>②平成26年度予算補正について 法人 第2号 特別養護老人ホーム南光荘第2号 南光荘短期入所生活介護第2号 南光荘デイサービスセンター第2号 南光荘居宅介護支援第2号 きずな（生活介護）第2号 福祉の店きずな（就労継続支援A型）第2号 きずなワーク（就労継続支援B型）第2号 北山さくらんぼの家（共同生活援助）第2号 きぼう（共同生活援助）第2号 ほのか（一般相談支援）第2号 ほのか（特定相談支援）第2号 ほのか（障害児相談支援）第2号 きずな（地域生活支援）第2号</p> <p>③ 諸規程の一部改正並びに全面改正について 特別養護老人ホーム南光荘運営規程の一部改正 南光荘短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 南光荘デイサービスセンター運営規程の一部改正 きずな（生活介護）運営規程の一部改正 きずなワーク（就労継続支援B型）運営規程の一部改正 福祉の店きずな（就労継続支援A型）運営規程の一部改正 きずな就業規則の一部改正</p>

	きずな給与規程の一部改正 就労支援対象者就業規則の全面改正について 就労支援対象者賃金規程の全面改正について ④ 経理規程の全面改正について ⑤ ほのか相談事業その後の経過について ⑥ 平成27年度事業計画決定について 特別養護老人ホーム南光荘 南光荘短期入所生活介護事業所 南光荘デイサービスセンター 南光荘居宅介護支援事業所 きずな（生活介護） きずなワーク（就労継続支援B型） 福祉の店きずな（就労継続支援A型） 北山さくらんぼの家（共同生活援助） ほのか（相談支援） きずな（地域生活支援） ⑧平成27年度収支予算決定について 法人・南光荘拠点 きずな拠点 ⑦ 平成27年度建築委員の選任について ⑩その他
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

〔2〕 監事監査

26. 5. 16 26. 5. 20	①平成25年度事業報告について ②平成25年度収支決算について
26. 11. 11 26. 11. 12	①平成26年度前半期監査について 事業実施状況、会計状況

4、教育・研修状況

◎定例の職員会議において、事例を交えた様々な研修を積極的に実施する他、外部研修の復命伝達研修を行う。

【平成26年度施設内研修】

月 日	講義内容	講師
4 / 25	介護保健施設等システムソフト会社より 介護記録ソフトの説明 物故者慰霊祭の準備及び役割分担について	NDソフトウェア株式会社
5 / 30	研修委員会より今後の研修の予定 「悔いのない看取り 心にふれる死生学」 DVD 鑑賞	研修委員会 委員長
6 / 27	接遇研修会 ～利用者・家族が望む対応マナー～	人材育成コンサルタント・システムブレン 介護接遇講師 高橋美幸先生
7 / 25	○事故報告書の書き方について ① 介護事故の概要 ② 発生状況・初期対応 ③ 事故報告書の事例 ○高齢者の熱中症予防「かくれ脱水」について ○高齢者虐待チェックリストについて ① 身体的虐待 ② 放棄・放任 ③ 心理的虐待 ④ 性的虐待 ⑤ 経済的虐待	荘 長

8 / 29	復命研修 「認知症看護実践 観察・アセスメントと かかわりの実際」 褥瘡の処置方法等について	介護職員 看護師
9 / 26	○職場の問題解決の手法 基礎編 ○介護記録・ケアマネジメント ○リスクマネジメント研修 ○苦情処理対応	荘 長
10 / 31	○介護保険施設入所の手順と介護報酬体 系について ○介護プロフェッショナルキャリア段位 制度について ・キャリア段位制度とは ・施設・事業所内で評価を行う者「アセッ サー（評価者）」 ・段位の評価の仕方 内部評価について	部長 アセッサー
11 / 28	○感染症対策研修 復命 ○感染症蔓延予防対策徹底事項について ○緊急連絡網の配布 ○消防訓練 夜間の火災を想定して	看護師 荘 長 防火管理者

12 / 26	<p>○感染症蔓延防止対策 ノロウイルス蔓延対策 ※おう吐物の処理実技 各班毎に順に実技訓練実施</p> <p>○救急・蘇生法実技訓練 AEDの使用法 人工呼吸法 食物が咽喉に詰まった場合 ○平成27年度介護保険制度改正の概略</p>	<p>荘 長</p> <p>各班</p> <p>看護師指導 荘 長</p>
1 / 30	○認知症研修	荘 長
2 / 27	<p>○不適切ケアについて 不適切ケアとは何か</p> <p>○高齢者虐待防止事例演習</p> <p>○オンコール連絡体制の看護師への連絡について</p> <p>○食べ物か咽喉に詰まった時の対応（誤嚥時の対応）</p>	荘 長
3 / 27	<p>○平成27年度事業計画について</p> <p>○平成27年度事務分掌及び事務処理細則について</p> <p>○36条協定・1ヶ月単位の変形労働時間に関する協定について</p> <p>○各班で班会議</p>	荘 長

5、行事实施状況

物故者慰霊祭

開催日時 平成26年5月11日〔日曜日〕午前10時～

主催者 特別養護老人ホーム南光荘、

場 所 2階機能回復訓練室

概 要 仏式による祭典

参加者 遺族、入所者、職員

南光荘ふれあい敬老会

開催日時 平成26年9月7日〔日曜日〕

主催者 特別養護老人ホーム南光荘

概 要

参加者 入所者、来賓、職員

6、関係機関による研修参加状況

【26年度】

- | | | |
|------|-------------------------------|-------|
| 4/18 | 生活相談員スキルアップ研修会
～通所介護計画作成編～ | 広島市1名 |
| 4/20 | 関節機能障害と姿勢制御 | 神戸市1名 |
| 5/15 | 平成26年度接遇リーダー研修 | 岡山市1名 |
| 6/21 | 施設機能訓練指導員実務の進め方と注意点 | 岡山市1名 |

6/28	認知症の観察、アセスメントとかかわりの実際	岡山市1名
7/5	通所サービスの営業活動稼働率アップの具体策	岡山市1名
7/9	レクリエーション実践研修	岡山市1名
7/24	気持ちと声に子たえるデイサービス	倉敷紙1名
8/5～		
10/7	喀痰吸引等基礎研修	南光荘5名
9/9	質の高いアセスメントの方法	岡山市1名
9/28	姿勢の評価とアプローチ	大阪市1名
10/28	認知症の早期診断、早期介入に関する最新技術	神戸市1名
2/4	介護プロフェッショナル・キャリア段位制度 アセッサー研修会	大阪市1名
3/19	集団指導 居宅介護支援	岡山市2名
3/20	集団指導 通所介護	岡山市1名
	集団指導 介護老人福祉施設 短期入所生活介護	岡山市2名

7、施設見学・慰問・ボランティア・研修等の受け入れ状況

【26年度】

6/16		
～21	美作大学から実習生受け入れ	4名
6/29	黒住教奉仕作業	30名

8 / 18	美野地区との交流会	25名
9 / 15	歌手 生駒尚子さん慰問	1名
10 / 19	家族会奉仕作業	43名
11 / 21	勝央町民生委員奉仕作業	10名
12 / 16	勝央町民生委員年末慰問	2名

8、事故報告書件数

○表皮剥離（手背、手の甲、前腕、 右後方側頸部、下肢他）	31件
※車椅子移乗中、入浴介助中、介護抵抗、自傷行為他)	
○内出血(上腕)	4件
○打撲(臀部、大腿部)	2件
○右頸部骨折	1件
○左上腕骨折	1件
○左第転子間骨折	1件
○車椅子よりずり落ち	4件
○ベッドよりずり落ち	6件
○ポータブルトイレよりずり落ち	2件
○転倒（歩行介助中）	1件
○転倒（自力歩行中）	5件
○入所者同志の暴力行為	1件

●ヒヤリ・ハット報告書

車椅子からのずり落ち	1件
居室誘導中転倒	1件
他	3件

※反省点・報告書提出件数が少ない

◎岡山県、市町村へ報告した件数(医療機関にかかった場合に報告義務)

○左上腕骨折	1件
○右頸部骨折	1件
○左第転子間骨折	1件
○誤嚥	1件
○左足裂傷	1件
○頭部打撲(異常なし)	1件

9、苦情受付処理について

- 1、低血糖状態悪化に対する施設の対応について
(施設には、嘱託医師も看護師もいるので、血糖管理が出来るのが当然ではないのか。)
※改善策 医療依存度の高い入所者を受け入れる場合は特に、介護、看護の情報共有を綿密に図り、異変があれば速やかに入院等早期対応を医師と連携してとる。
- 2、ショートステイ入所時の持参物の説明不足、冬期の室温管理について(肺炎の原因がこれらに起因するものではないか。)
※入所時持参品リストの提示と併せて口頭説明を徹底する。
※多職種間の連携強化。徹底したカンファレンスによる情報共有。
※家族より質問を求められた場合、内容によっては予め顧問弁護士に相談の上、回答する。
- 3、ショートステイ入所をしていることを知られたく無かったが、そのことを他者に、漏らした。
(個人情報徹底を図ってほしい。)
※個人情報保護法を厳守するために、繰り返しその研修の実施と個人情報の取り扱いには、慎重かつ厳重に管理する。また、個人情報を使用する場合のルールを再度徹底する。

※改善策については、平成27年5/21日第三者委員会を開催し、指摘事項、助言をもとに、再発防止対策等を記しております。

10、委員会活動

○身体拘束廃止委員会	毎月開催
○リスクマネジメント委員会	毎月開催
○研修委員会	年4回開催
○給食会議	毎月開催
○食中毒防止対策委員会	年4回開催
○感染症対策委員会	年4回開催
○入所判定委員会	年4回開催
○行事实行委員会	1行事毎に3回～4回